

## 令和6年度事業計画

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響が緩和され、全国的に観光流動が活発化し、一部の地域では、インバウンド観光客の増加によるオーバーツーリズムの問題が発生するなど、観光需要が急激に回復している地域も見受けられる。

秋田県においても、7月中旬の大雨の影響で、宿泊施設を中心に大幅なキャンセルが発生したものの、令和5年の宿泊客数は、前年に比べ回復している。しかし、未だコロナ禍前の水準には達しておらず、また、その回復は、他の都道府県に比べて遅れている状況にある。

これに加え、今後、国内人口が減少し、国内観光客数の減少していくことを踏まえると、さらに、インバウンドを中心とした誘客を促進していくとともに、サービスや体験コンテンツの高付加価値化を進めることにより、観光客一人当たりの消費額の向上を図っていくことが重要である。

こうした中で、昨年12月に就航した台湾チャーター便は、今年10月まで運航期間が延長されたほか、令和6年12月からはJR東日本の重点販売地域関連の大型観光キャンペーンがスタートし、令和7年4月からは大阪・関西万博が開催されることから、こうした機会をチャンスと捉え、これらの取組を推進していくことが求められる。

一方、本県の観光産業は、他の産業分野に比べ、人手不足が深刻であり、施設を十分に稼働できていない施設も見受けられるなど、厳しい状況に陥っている。

こうした状況を踏まえ、令和6年度は、県と連携しながら、台湾チャーター便や大型観光キャンペーン等を軸として、国内外からの誘客活動やプロモーションに継続して取り組んでいくとともに、観光消費額の向上に向けて、高付加価値コンテンツの造成・磨き上げや、サービスの向上に取り組む会員への支援、バリアフリー観光の具体のメニューづくり等を重点的に進めていく。

また、観光産業の将来的な人材確保を図るため、商業科を有する高等学校と連携し、観光産業への理解を深めてもらうための取組や、県外居住者等を労働力として確保する取組を新たに実施し、会員事業者の人材確保の一助としていく。

※単位：千円、（ ）は5年度当初予算

## 観光連盟の自主事業

- 重点目標**
- ・ 新たな旅行スタイル等に対応した持続可能な観光産業形成の推進
  - ・ 地域や観光事業者等との協働によるみんなにやさしい観光地づくり
  - ・ 人材確保に向けた取組の推進

53, 448 (54, 393)

### 1 魅力ある観光地づくりの推進

(1) 観光地魅力アップ支援事業 [拡充] 4, 054 ( 2, 050)

新たな旅行スタイルや外国人観光客に対応した観光地の魅力向上や情報発信等による観光客の誘致を目的に、複数の正会員が連携して企画・実施する取組等に対し助成する。

(助成対象)

- ・ 新たな旅行スタイルや外国人観光客に対応した観光コンテンツの造成
- ・ 需要の増加が期待される自然や食文化、農山村体験等の観光コンテンツの磨き上げ
- ・ 観光業に携わるスタッフのレベルアップにつながる研修会の開催
- ・ 新たな観光需要を創出するための取組 等

(助成額・通常枠)

- ・ 新規事業 補助率3/4 (上限40万円)
- ・ 継続事業 補助率3/4 (上限20万円)

(助成額・冬の魅力アップ枠)

- ・ 新規事業 補助率4/5 (上限50万円)
- ・ 継続事業 補助率4/5 (上限30万円)

(2) 花まるっモニターツアー推進事業 883 ( 883)

地域固有の自然や文化、農村体験等の隠れた観光コンテンツを活用するなど、新たな旅行スタイルに対応したモニターツアーを実施する。

また、地域ならではの観光コンテンツの活用を促すため、地域からの提案によるモニターツアーも検討する。

- ・ 実施回数 年3回程度

(3) テーマ性のある観光資料等発行事業 [拡充] 1, 273 ( 4, 853)

会員施設や地域の魅力等を発信するため、イベントカレンダーを発行するほか、近年増加している、観光客からのカスタマーハラスメントの防止に向けた啓発ポスターを制作する。

## 2 受入態勢の向上・人材育成

- (1) 受入態勢向上促進事業 [拡充] 1, 230 ( 1, 166)  
事業者と一体となって受入態勢の向上を図るため、連盟職員が会員施設を巡回調査し、会員施設の実態把握や情報提供等を行うほか、会員のニーズに応じた研修会（リアル参加、オンライン、後日動画視聴のハイブリット形式）を実施する。  
加えて、会員従業員の業務へのモチベーションを高め、おもてなし力の向上等につなげるため、会員等の推薦に基づいた表彰を行う。
- (2) 宿泊・観光施設人材不足対策事業 [拡充] 3, 880 ( 910)  
① 県内の観光産業への理解を深め、就職先の選択肢の一つとしてとらえていただくため、商業科を有する高等学校における授業の一環として、観光産業への理解を深めていただくための講演や、モデルプランづくりに係るワークショップ、会員施設訪問等を実施する。  
② インターンシップの受入を希望する会員や地域（複数の施設をインターンシップ）の情報を県内及び近隣県の高等学校、専門学校、大学に提供する。  
③ 大学生アルバイトの確保支援のため、会員の求人情報を会員大学等に提供する。  
④ 会員施設が、アルバイトやワーキングホリデー等により、県外居住者や県内大学生を、一定期間雇用する場合、交通費相当分を助成する。 [新規]
- (3) 「秋田カンバン娘」事業 612 ( 575)  
観光の最前線でがんばる女性を「秋田カンバン娘」として登録し、PR活動等に協力していただくほか、秋田ふるさと検定を活用した「おもてなし力」の向上を図る。  
① エフエム秋田ラジオ番組「相場詩織の秋田カンバン娘」出演等によるPR  
② 「秋田カンバン娘」による観光PR(出前PR等)  
③ 秋田ふるさと検定受検支援事業
- (4) 観光秋田未来塾開催事業 [拡充] 754 ( 365)  
国内外で活躍する講師を招き、新時代の観光事業経営や外国人・高齢者等の受入手法など、最新の知識・動向に関する経営者向け講座（ハイブリット形式）を開催する。  
・観光秋田未来塾の開催 1回
- (5) デジタルプロモーション活用支援事業 [拡充] 1, 025 ( 750)  
会員が実施するデジタルプロモーションに要する経費を助成する。  
(助成額等)  
・助成額 補助率2/3 (上限20万円)  
・採択件数 5件程度

- (6) ワークーション導入支援事業 [終了] 0 ( 438)  
長期滞在を促進するため、会員が新たに行うワークーションの導入に向けた取組に対し助成する。

### 3 バリアフリー観光の推進

- (1) バリアフリー観光推進事業 [拡充] 3, 729 ( 3, 580)
- ① バリアフリー観光の推進を図るため、引き続き会員施設のバリアフリー調査及び情報発信を実施する。
  - ② 新設観光施設等のバリア状況調査及び情報発信の実施
  - ③ 観光コンシェルジュ (バリアフリー担当) の配置
  - ④ 継続的な集客を図るため、首都圏発着のバリアフリーモニターツアーや高齢者向けモニターツアー等を実施するとともに、介助事業者と観光施設が連携した、メニューを造成し、PRする。 [拡充]
  - ⑤ 観光庁が所管する「心のバリアフリー」の認証拡大に向けて、要件を満たすためのソフト面の充実に向けた取組に対する費用の一部を助成する。 [新規]
- (2) 「あきた旅のサポートセンター」・「秋田バリアフリーツアーセンター」運営事業 350 ( 270)
- 「みんなにやさしい観光地づくり」の推進拠点として、外国人や高齢者等を対象に、観光地、宿泊施設等に係る情報発信、電話相談窓口を行う「あきた旅のサポートセンター (秋田バリアフリーツアーセンターを含む。)」を運営する。
- ・両センターの周知及びウェブサイトによる情報発信

### 4 国内誘客・消費拡大の推進

- (1) 県内周遊促進出前PR等事業 [拡充] 2, 269 ( 710)
- 県内周遊や県外からの誘客を促進するため、JR東日本の重点販売地域の指定期間中の観光キャンペーンに向けて、広域的な集客が期待できる大規模イベントや首都圏の駅等において、会員や県、JR東日本との連携による観光PRを行う。
- (2) 会員との連携による観光客受入体制強化事業 [拡充] 900 ( 527)
- ① 隣県等からの誘客や観光客の利便性向上を図るため、NEXCO東日本、ヤマト運輸等会員企業と連携し、キャンペーンへの参加、新たな形態のサービス提供などを行う。
    - ・NEXCO東日本イベント (ハイウェイフェスタとうほく等) への参加
    - ・ヤマト運輸との連携による「あきた手ぶら便」の実施 ほか
  - ② 秋田犬がデザインされた秋田版図柄入りナンバープレートをフックとした県外でのPRや県内における歓迎ムード醸成を図るため、秋田県バス協会と連携して、リムジンバスや貸切バス等への導入に要する費用を助成する。
  - ③ 観光客のおもてなしの一環として、全県的なおもてなし機運を醸成するためのグッズ等を制作し、会員に配布する。

- (3) 誘客促進セールス事業 [拡充] 2, 030 ( 824)  
 大都市圏、隣県等からの誘客を促進するため、旅行会社、バス会社等への情報提供や商品造成セールス、団体旅行の誘致、隣県「道の駅」へのパンフレット備え付け等を行う。  
 ・首都圏、中部圏、隣県等への旅行会社セールスを、春秋各1～2回程度実施  
 ・首都圏旅行会社を対象としたFAMツアー及び商談会の実施  
 ・道の駅へのパンフレット配置 ほか
- (4) 首都圏商談会開催事業 389 ( 380)  
 国内最大市場である首都圏からの誘客を図るため、秋田の観光創生推進会議や秋田県観光誘致協議会と連携して、首都圏の主要旅行会社の商品造成や主力営業店の担当者を集めた「B to B」商談会を開催する。  
 ・年1回開催（首都圏旅行会社約100名、秋田県観光事業者約50名）  
 ※令和6年度は冬季の重点販売地域に向けて7月18日に開催予定
- (5) 県外誘客モニターツアー推進事業 968 ( 968)  
 県外からの誘客促進を図るため、本県の有する観光資源を生かしながら、首都圏・中部・関西・隣県等の旅行会社と共同したモニターツアーを実施する。  
 ・実施回数 年間4回程度
- (6) 教育旅行誘致事業 [拡充] 9, 614 ( 7, 831)
- ① 本県における教育旅行の主要マーケットである北海道において、誘致説明会を開催するほか、札幌市等の中学校や旅行会社等を対象に、キャラバン活動を行うなど、誘客を推進する。
    - ・秋田県教育旅行誘致説明会の開催（札幌市）
    - ・県内事業者等との連携による札幌市等でのキャラバン活動
    - ・東北観光推進機構主催事業（主要地域での説明会等）への参加
  - ② 北海道の教員を対象に、秋田の教育旅行関係コンテンツを視察するファミツアーを実施する。
  - ③ 教育旅行誘致活動に協力いただいている教員と連携し、新たな学校の掘り起こしを行うほか、本県の教育旅行コンテンツの更なる発掘・磨き上げを行う。
  - ④ 北海道に次ぐマーケットである宮城県仙台市等で、旅行会社等を対象に誘客セールスを実施する。
  - ⑤ 会員施設への宿泊や県内2か所以上での体験学習等を伴う教育旅行を催行する旅行会社を対象に、バス利用に要する経費の一部を助成する。 [拡充]
  - ⑥ 会員施設への宿泊や県内2カ所以上での体験学習を伴う教育旅行を行う学校を対象に、体験学習に要する経費の一部を助成する。
  - ⑦ 教育旅行の主要テーマであるSDGs関連のコンテンツの充実を図るため、新たなコンテンツ造成や既存コンテンツの磨き上げに向けた取組に助成する。

- (7) SNSを活用した会員情報発信強化事業 [拡充] 872 ( 663 )
- ① 会員情報の発信力を高めるため、フェイスブックやX (旧: ツイッター)、インスタグラムを活用し、リアルタイムに情報を発信するとともに、SNS上でフォロワー獲得キャンペーンを実施する。
  - ② 会員情報の拡散と県内誘客の促進を図るため、フォロワー数の多いインフルエンサーを活用した情報発信を行う。
- (8) 市町村協働推進事業 757 ( 757 )
- 地域と一体となった活動を展開するため、市町村職員の通年研修を受け入れ、地域と連携した情報発信、観光地づくりの支援について、学びながら実践する。
- (9) 冬こそ秋田だ！ 冬季誘客促進事業 [終了] 0 (11, 500)
- 季節による繁閑の平準化を目的に、県の冬季誘客キャンペーンと連携して、首都圏等の個人客を対象に会員施設で利用可能な観光クーポン券を発行し、冬季誘客を図る。

## 5 外国人観光客の誘致促進

- (1) 訪日観光客誘客促進事業 [拡充] 5, 694 ( 3, 436 )
- 県が重点市場としている台湾等の東アジアを中心に、外国人観光客の誘致を図るため、県等が主催する誘客プロモーションへの協力、会員の商談会への参加促進、県内大学等と連携した口コミ情報の発信等に取り組む。
- ① 東・東南アジア誘客促進事業 [拡充]
    - ・現地旅行博や商談会でのPR、トップセールス ほか
  - ② 海外商談会等参加費助成事業
    - ・海外商談会等へ参加する会員への助成金 3万円
  - ③ 県内大学連携事業
 

秋田大学、国際教養大学等の留学生向けに、県内の観光地や体験コンテンツを実際に体験してもらい、SNSによる情報発信を行ってもらおうほか、課題の洗い出しを行う。
- (2) 訪日観光客受入体制整備支援事業 5, 977 ( 5, 644 )
- 訪日観光客の誘致を促進するため、共通的な受入体制の整備を行う。
- ① 観光コンシェルジュ (インバウンド担当) 配置事業
 

観光コンシェルジュ (インバウンド担当) を配置し、外国人からの照会・回答、会員からの翻訳依頼、招へい事業のアテンド、地域イベントにおける通訳など、英語による対応、英語版SNSによる情報発信等を行う。
  - ② 多言語翻訳支援事業
 

館内案内、メニュー表、POPなど、多言語 (英語、中国語 (簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語) に翻訳するサービスを提供する。

③ 免税導入経費支援事業  
免税店整備に要する経費（レジ付加機材、ステッカー貼付機材等）について助成する。

④ 館内案内表示多言語化等支援事業  
宿泊施設等の多言語化を支援するため、簡易な案内表示板を作成し、会員施設に提供する。

(3) クルーズ船受入支援事業〔拡充〕 1,060 ( 246)

① クルーズ船の寄港による経済波及効果を高めるとともに、県内特産品の認知度向上を図るため、クルーズターミナル内に連盟会員の販売スペースを確保するほか、出店者に対し旅費の一部を助成する。

② 外航船を中心とした、クルーズターミナルや秋田キャッスルホテル内での観光案内及び情報提供を行う。

## 6 その他

(1) 広域観光推進事業 724 ( 700)

広域観光を推進するため、県内外における各種活動等に参画・支援する。

- ・各種大会への協賛、記念式典等への参画
- ・あきた広域観光誘客推進協議会の活動への参画 ほか

(2) 秋田の観光創生推進会議協賛事業 2,200 ( 2,200)

秋田の観光創生推進会議に参画し、全県が一体となった観光プロモーションを展開する。

(3) 観光連盟機能強化事業 469 ( 469)

会員との情報共有を図り、一体的な活動を展開するため、観光協会会長等会議、地域別懇談会を開催するほか、各業界の若手リーダーで構成する「観光秋田盛り上げ隊」において、新たな提案や課題への対応策を検討する。

- ・観光秋田盛り上げ隊会議 3回程度
- ・観光協会会長等会議 1回
- ・地域別懇談会 3か所

(4) DMO推進事業 294 ( 150)

東北や県内のDMO関係会議に出席し、DMOの推進に関する情報収集や情報交換を行うほか、秋田県版DMPや東北観光DMPのデータを活用し、地域や会員事業者にお役に立つ情報を提供するための分析・取りまとめ手法を確立する。

- (5) 各種協議会等連携事業 1,360 ( 1,360 )  
 スケール感のある取組や新たな切り口による活動を展開するため、地域連携や官民協働で観光振興を進める県内外の協議会等に参画する。  
 ・秋田県密着型旅行商品開発促進協議会等への参画 ほか
- (6) 会員倍増計画推進事業 81 ( 75 )  
 観光に直接関連する事業者のみならず、秋田の総力を結集し、観光振興を進めるため、当連盟会員の拡大に取り組む。
- (7) 県の観光DX事業との連携事業 [終了] 0 ( 113 )  
 県が行う客観的なデータに基づいた観光地域づくり等のためのデータマネジメントプラットフォーム事業に実証段階から積極的に協力、参画する。

※単位：千円、( )は5年度当初予算

**秋田県からの受託事業**

**35,272 (26,688)**

秋田県から事業を受託するに当たり、事業の企画立案段階から参画することにより、オール秋田で漏れや重複のない効果的な事業推進に努める。

- (1) 北東北三県・北海道ソウル事務所設置運営事業 8,800 ( 8,800 )  
 現地事務所の運営等
- (2) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業 1,080 ( 1,080 )  
 現地事務所を活用したバイヤー招聘等
- (3) 「アキタファン」運用管理事業 230 ( 230 )  
 県公式観光ホームページの維持管理等
- (4) 秋田の観光対応力レベルアップ事業 4,110 ( 2,820 )  
 受入態勢力アップセミナー、観光案内所等連絡会議及び訪日外国人案内対応研修等の開催
- (5) 秋田県観光DMP促進事業 8,007 ( 5,822 )  
 秋田県観光DMPシステムの活用促進のため、全県において宿泊事業者に対し、観光DMPの導入・活用に向けた説明会を開催するとともに、県内を10地域に分けてエリアマーケティングの実証事業を実施

- (6) 観光人材確保支援事業 3, 045 ( 4, 172)  
 観光人材確保に向け、働き方改革につながる宿泊事業者を対象とした意識開発セミナーや女性活躍推進のための女性従業員を対象としたセミナーを開催  
 県の補助事業に係る宿泊事業者等からの相談対応や申請書類の確認等
- (7) 台湾チャーター便の利用促進に向けた台湾旅行会社等招聘事業 10, 000 ( 0)  
 台湾チャーター便の利用促進を図るため、現地の旅行会社等を招聘して、ファムツアー（県内視察・商談等）を実施
- (8) 秋田県観光統計事業 [終了] 0 ( 947)  
 秋田県観光統計のデータ収集等
- (9) 宿泊施設生産性向上セミナー開催等事業[終了] 0 ( 2, 817)  
 県内宿泊事業者等を対象としたセミナーの開催等